

- 1日 ○イングランド銀行 (BOE), 金融政策委員会を開催し, 以下を決定
 ・政策金利0.75%に据置き
 ・資産買入れ枠を維持 (4,450億ポンド)
- 自販連, 7月の国内新車販売台数を発表
 国内新車販売台数 (含む軽) は, 45万9,456台で前年比+4.1%と2か月ぶりの増加
- 米供給管理協会, 7月のISM景況指数 (製造業) を発表
 総合指数は51.2ポイントと前月 (51.7ポイント) から低下
- 2日 ○米労働省, 7月の雇用統計を発表
 非農業部門の雇用者数は前月比16.4万人増, 過去2か月分は修正 (6月分は同19.3万人増に下方修正 (△3.1万人), 5月分は同6.2万人増に下方修正 (△1.0万人))
 失業率は3.7%と前月 (3.7%) から変わらず
- 米商務省, 6月の貿易・サービス収支を発表
 貿易・サービス収支 (国際収支ベース) は△552億ドルとなり, 前月 (△553億ドル) から赤字額は縮小
- 6日 ○総務省, 6月の家計調査 (二人以上の世帯) を発表
 実質消費支出は前年比+2.7%と7か月連続の増加, 季調済前月比は△2.8%と2か月ぶりの減少 (ともに, 調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値)
 基調判断は「持ち直している」とし据置き
- 厚生労働省, 6月の毎月勤労統計 (速報) を発表
 現金給与総額 (共通事業所系列) は前年比+1.1% (うち所定内給与は同+0.5%, 所定外給与は同△0.5%, 特別給与は同+2.0%)
 (令和元年6月速報から, 「500人以上規模の事業所」について全数調査 (以前は一部抽出調査) による値に変更)
- 内閣府, 6月の景気動向指数 (CI) (速報) を発表
 先行指数は93.3 (前月差△1.6ポイント) で2か月連続の低下, 一致指数は100.4 (前月差△3.0ポイント) で3か月ぶりの低下, 遅行指数は104.1 (前月差△0.4ポイント) で2か月ぶりの低下, 基調判断は「下げ止まりを示している」とし据置き
- 8日 ○財務省, 6月の国際収支状況 (速報) を発表
 経常収支は1兆2,112億円, 前年比△3億円 (黒字幅縮小) で60か月連続の黒字
- 東京商工リサーチ, 7月の全国企業倒産状況を発表
 倒産件数は802件 (前年比+14.2%) と2か月連続の前年比プラス, 負債総額は934億円 (同△17.1%), 倒産企業の従業員数は3,716人 (同+20.2%), 上場企業倒産は0件
- 内閣府, 7月の景気ウォッチャー調査を発表
 景気の現状判断DIは前月差△2.8ポイントの41.2となり3か月連続の低下, 先行き判断DIは前月差△1.5ポイントの44.3となり2か月ぶりの低下
 景気現状の基調判断は「天候など一時的な下押し要因もあり, このところ回復に弱い動きがみられる。先行きについては, 消費税率上げや海外情勢等に対する懸念がみられる」とし下方修正
- 中国海関総署, 7月の貿易収支を発表
 貿易収支は451億ドルと16か月連続の黒字, 輸出は2,215億ドルで前年比+3.3%と2か月ぶりのプラス, 輸入は1,765億ドルで前年比△5.6%と3か月連続のマイナス
- 9日 ○内閣府, 2019年4-6月期のGDP (1次速報) を発表
 実質GDP成長率は, 季調済前期比+0.4% (年率換算+1.8%) となり, 3四半期連続のプラス成長
 名目GDP成長率は, 同+0.4% (年率換算+1.7%) となり, 3四半期連続のプラス成長
 GDPデフレーターは, 同△0.0%となり4四半期ぶりのマイナス, 前年比は+0.4%と2四半期連続のプラス
- 日本銀行, 7月のマネーストック (速報) を発表
 M2は前年比+2.4%, M3は同+2.0%, 広義流動性は同+1.9%
- 英政府統計局, 2019年4-6月期のGDP (速報) を発表
 実質GDP成長率は前期比△0.2%, 年率△0.8%
- 13日 ○日本銀行, 7月の企業物価指数 (速報) を発表
 前年比△0.6%となり, 2か月連続のマイナス
- 米労働省, 7月の消費者物価指数を発表
 総合指数は前年比+1.8%, 前月比+0.3%, 食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+2.2%, 前月比+0.3%
- 14日 ○内閣府, 6月の機械受注統計を発表
 民需 (除く船舶・電力) は季調済前月比+13.9%と2か月ぶりの増加
 基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし据置き
- 独連邦統計局, 2019年4-6月期GDP (速報) を発表
 実質GDP成長率は季調済前期比△0.1%, 年率△0.3%
- 15日 ○東日本建設業保証会社等, 7月の公共工事前払金保証統計を発表
 公共工事請負金額は前年比+28.5%で6か月連続のプラス
- 米商務省, 7月の小売売上高を発表
 総合は季調済前月比+0.7%, 過去2か月分は修正

日誌

(8 月 中)

<p>(6月分は下方修正 (+0.4%→+0.3%), 5月分は上方修正 (+0.4%→+0.5%)) 自動車・同部品を除くと前月比+1.0%</p> <p>○米連邦準備制度理事会 (FRB), 7月の鉱工業生産を公表 生産は季調済前月比△0.2%, 過去2か月分は修正(6月分は上方修正 (△0.0→+0.2), 5月分は下方修正 (+0.4%→+0.2%))</p> <p>19日 ○財務省, 7月の貿易統計(速報)を公表 輸出は自動車の部分品, 半導体等製造装置等が減少し, 前年比△1.6%の6兆6,432億円, 輸入は原油, 石油製品等が減少し, 同△1.2%の6兆8,928億円, 貿易収支は△2,496億円で2か月ぶりの赤字</p> <p>20日 ○国土交通省, 6月の建設総合統計を公表 公共工事出来高は前年比+5.3%で, 3か月連続のプラス</p> <p>23日 ○総務省, 7月の消費者物価指数を公表 生鮮除く総合は前年比+0.6%となり, 31か月連続のプラス</p> <p>30日 ○政府, 8月の月例経済報告を公表 景気の基調判断を「景気は, 輸出を中心に弱さが続いているものの, 緩やかに回復している」とし据置き</p> <p>○総務省, 7月の労働力調査を公表 完全失業率(季調済前月比)は2.2%で前月(2.3%)から低下 雇用者数(原数値)は6,034万人で前年比81万人の増加 完全失業者数(同)は156万人で前年比16万人の減少, 26か月連続で200万人を下回った</p> <p>○厚生労働省, 7月の一般職業紹介状況を公表 有効求人倍率(季調済)は1.59倍となり, 前月</p>	<p>(1.61倍)から低下, 都道府県別の有効求人倍率(季調済)は34か月連続で受理地別・就業地別ともに, 全都道府県で1倍を上回った 雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進む中, 求人が求職を大幅に上回って推移している」とし据置き</p> <p>○経済産業省, 7月の鉱工業指数(速報)を公表 生産は季調済前月比+1.3%, 出荷は同+2.6%, 在庫は同△0.3% 基調判断は「生産は一進一退」とし据置き</p> <p>○経済産業省, 7月の商業動態統計を公表 小売業販売額は前年比△2.0%で21か月ぶりの減少, 季調済前月比は△2.3%で4か月ぶりの減少 基調判断は「一進一退の小売業販売」とし下方修正</p> <p>○国土交通省, 7月の建築着工統計調査を公表 住宅着工総戸数(原数値)は, 79,232戸(前年比△4.1%)と2か月ぶりの減少, 季調済年率は91.0万户(前月比△1.3%)と2か月ぶりの減少</p> <p>31日 ○中国国家统计局, 8月の製造業PMI(購買部担当者指数)を公表 総合指数は49.5ポイントと前月(49.7ポイント)から低下, 景気の拡大・縮小の分岐点である50を4か月連続で下回った</p> <p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値) 月間最高値 1,567.35(1日) * 最安値 1,478.03(26日)</p> <p>日経平均株価(終値) 月間最高値 21,540.99円(1日) * 最安値 20,261.04円(26日)</p> <p>東京外為市場(ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点) 月間最高値 105.20円(13日) * 最安値 109.15円(1日)</p>
--	--